

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	15	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	3	
		1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	1.利用者1人1人の尊厳を尊重し、その思いを大切にします。2.利用者のその有する能力に応じた生活環境づくりをめざします。3.利用者とスタッフは、共に生活者としてのパートナーです。	1	随時、理念を心がけ、必要に応じて作り変えていきたい。
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝の申し送り後スタッフ全員で理念を読み上げている。又遅出・夜勤者は、出勤後読み上げ、常に理念を心がけている。又月1回のミーティングの際に入居者一人ひとりに対する日々の意思表示や自己決定を可能にする為の話し合いを持っている。	1	職員の入れ替わりにより新しい職員に対し、勉強会等行い、理念への理解・日々の取り組みを指導して行きたい。
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	パンフレットや一ヶ月おきの通信新聞の配布・運営推進会議、又近所への買物を行っている。	1	家族や地域の人々が認知症についての理解をしてもらえるように、家族、地域住民への勉強会を開き又いつでも相談にのれるようもっとこえ掛けしていきたい。
		2	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	3	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方が施設内の庭の花や畑に水撒きをしてくださる。施設の催し時には、必ず参加して下さる。御裾分けや餅つきなどの声掛けをして下さる。	1	これからは、もっと範囲を広げたお付き合いが出来るよう入居者を含めた地域行事への参加を増やしたい。
	5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	廃品回収・町内清掃・夏祭り・などに参加している。	1	施設への慰問を近隣の保育園に依頼の計画を立てている。8月末までには実行したい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでほしい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支地域 合との	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	老人会等への参加呼びかけやいつでも遊びに来ていただけるように声掛けを行っている。また散歩を行う事で近隣住民とのコミュニケーションが図れるように心掛けている。	1	地域の清掃や高齢者宅を把握し困ってる事はないか少しでも貢献できる事はないか話あっている。
	3 理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)			自己評価5項目・外部評価4項目	5	
	3 理念を実践するための制度の理解と活用	7 外部評価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価内容を充分理解した上で、改善策などを考えその都度、話しあっている。	1	新しい職員には、外部評価の資料に目を通すと言う指導をきちんと行い全職員が意見交換しながら、評価を活かし改善に取り組むよう心掛けて行きたい。
		8 外部評価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を開き、近隣住民・家族代表・民生員・地域包括支援センターに来ていただき外部評価の状況を報告し、意見を聞き話し合いを行っている。	1	民生員の急用の為、代理の方に声掛けして頂き参加して頂ける事が出来た。又包括支援センターからも代表の方に来て頂ける事が出来て交流が取れるようになった。今後も定期的な運営推進会議を行い、色々な意見を聞き交流を深めサービス向上に努めていきたい。
		9 外部評価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	包括支援センター等、施設の1ヶ月おきの通信新聞を届け情報交換を行っている。	1	これからも市町村の担当者を含め包括支援センターとの情報交換を行い連携に取り組んで行きたい。
		10 外部評価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域福祉権利擁護を必要とする方に対して地域保険福祉課に相談した。又これまでに、成年後見制度を利用していただ方もおられた。	1	現状、個々の必要性を関係者に相談を持ちかけたがそれを必要とする方に対し色々な条件を満たしていないと指摘され利用するには、至る事が出来なかった。しかしこれからも管理者・職員共にもっと学ぶ機会を持ち、それを理解した上で実際に必要であれば活用し、支援できるように取り組んで行きたい。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待マニュアルにて、虐待が起きないように徹底している。	1	気付かない言葉による虐待等、職員同士おかしいなと感じたときには、注意しあっている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	1	
理念に基づく運営	4 理念を 実践す るため の体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	文書・口頭で説明し、再度契約書にゆっくりと目を通して頂き、その都度、解らない点・疑問に思われた点など、早急に返答し理解・納得された上でサインをもらっている。	1	職員全員が家族に十分な説明が出来るように情報や、知識の共有」に努めていきたい。
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月1回のミーティング時や必要に応じて、当日のうちに話し合いを持ち対応している。又運営推進会議にて報告を行っている。	0	
		14 外部 評価 8	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の請求書に加え1ヶ月の近況情報(月平均のBp・KT・体重・健康状態・往診の報告・1ヶ月の日常生活)を各入居者担当が作成し報告、送付している。又1ヶ月おきには通信新聞を作成し同付している。	0	
		15 外部 評価 9	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月1回のミーティングの時や申し送り、連絡帳記載し必要に応じて当日のうちに話し合いを持つようにしている。又、運営推進会議にて報告などを行っている。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のミーティングにおいて意見の交換を行い入居者の生活向上に反映させている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者の状況や家族の状況に応じ職員の能力を考慮し作成し、又職員の希望休や有給もとりやすくし無理のない様に勤務作成している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に 基づく 運営	4 理念 ため の実 践制 す	18 外部 評価 10	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	毎月1回食事をしながら話し合いの場を持ち職員のストレスが蓄積しないようにしている。又退職時は、入居者が混乱しない様に、こちらからは、あえて知らせない。求められた時のみ説明している。	0	
		5 人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)			自己評価6項目・外部評価4項目	3
	5 人材 の育 成と 支 援	19 外部 評価 11	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除していないが積極性や協調性、向上心を持った人材を採用し未経験者・経験年数に応じての指導を行っている。又一人一人の能力に応じた役割分担などを行い、個々の能力を最大限に發揮できるようにしている。	0	
		20 外部 評価 12	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	ミーティングなどでその都度周知するように取り組み又勉強会を開き、話し合いをもっている。	1	まだまだ、広い範囲で行政等で行われる講話への参加が少ないので、様々な機会を利用して職員等に対する人権教育・啓発活動に取り組んで行きたい。
		21 外部 評価 13	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の能力に合わせた外部研修等への参加がある。それに合わせ報告会・勉強会がある。	1	職員の施設内外の研修を行っているが、回数が少ない為、施設外の研修など充実させて行きたい。
		22 外部 評価 14	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	定期的な訪問や研修会などに参加し情報交換などを行っている。それにより必要な情報や有効な情報があった場合は、話し合いを儲け取り入れるかどうかなどの判断を行っている。	1	新しい職員にも、知人の事業所や他のグループホームでの職員研修や職員の質の向上に向けて情報交換等に努めたい。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	管理者・職員などと、個人面談などを行い話を聞く、有給給を利用してストレスの軽減ができるようにしている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	それぞれの職員が持つ得意分野や能力に応じた仕事であったり、苦手な分野に対しても責任感・達成感が持てるように働きかけ、自己満足で終わらないように次へのステップを目指して働けるよう努めている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1 相談から 利用に至る までの関係 づくりとそ の対応	1	1 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)	自己評価4項目・外部評価1項目	0	
		25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	こまめに入居者と関わり本人自身から話せる環境をつくる。本人の意思を尊重しあくまで聞き役にまわり否定せず受け止める。	0	入居者は、特に夜間帯に困っていること、不安なこと、家族のことを話に来られることが多く見受けられる。お茶を飲みながらゆっくりと気が済むまで話して頂き話を共有しつつ、傾聴し納得いく声掛けに努めている。
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	こまめに連絡や面談を行う機会を持ち不安感・希望等よく聞き少しでも家族の不安等が軽減できるように努めている。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	医師・職員など必要に応じた機関等との連絡を密に行い最善の対応方法をとるようにしている。	0	
		28	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員は、入居者同士がぶつかり合ったり、本人が言えないストレスや仲間に加われない事による孤立感がないかを個別的に感じ取り、伝える言葉でコミュニケーションを図れるよう努めている。本人なりの生活習慣や癖などを家族に聞き相談している。	0	
	2	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)	自己評価6項目・外部評価1項目	0		
係り2 継続これ 新たな関 係へのま での支 援の関 関	29	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	畑作りや野菜の栽培など日常の関わりの中で自然と学び、お互いがパートナーであるという理念の下支え合う家族だと思ひ接している。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の状況変化・問題に対して、家族との連絡を、密に行い一緒になって取り組みを解決している。又季節事のレクリエーション行事には参加して頂き一緒に有意義な時間を過ごして頂けるようにしている。	0	
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	各家族の状況やこれまでの本人と家族との過去の経緯を把握し家族の本人に対する思いと本人の家族に対する思いを考慮の上、面会や、行事参加等のこえ掛けを行っている。	0	
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の希望により連絡を取り合っている。また、馴染みの人には、互いの近況報告や面会などの声掛け行事参加の呼びかけを行っている。他、施設側より本氏の思い出の場所に行ける範囲であれば時間を調整し出掛け思い出に浸って頂くようにしている。又、その場所にあった馴染みの物やそれに似た環境づくりに努めている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	本人が言えないストレスを感じ取りぶつかり合う関係がある場合交流の調整（離れた所で時間・空間を分ける対応、本人の意向を活かす方向の対応）個別的ストレス解消法に努め、仲間に加われ内ことによる孤立感を感じさせない仲間意識をもてるような調整を行っている。	0	仲間との馴染み支え合う関係ができるように全体の人間関係を把握している。
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	定期的な連絡を行い、互いの近況報告を行いお互いが行き来できるように呼びかけなどを行っている。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	3	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	1	
1	35	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者・家族との面談により思いや希望・意見・要望など本人の望む生活スタイルを送れるよう努め、把握した情報は、記録に残している。	1	今までの本人らしい生活スタイルが送れるようにできる限り努力して近づけて行きたい。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族・以前の利用機関（病院・施設等）に本人の情報提供を聞き把握している。毎月個々のモニタリングを行い現在までの経過を把握している。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	常に入居者に対して目配り・気配り・心配りを行っており、介護記録やミーティングを行い個々の現状報告を確認し合っている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者の本意に添えるよう担当者会議を行い本人・家族の意見を尊重し計画作成を行っている。	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態等の変化があればその都度見直し、担当者会議を行い家族の同意を得ている。又毎月介護職・ケアマネ双方でもモニタリング行っている。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌と個別の支援目標をあげ、達成状況を毎日記録している。	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族との外泊・外出の要望があった際は快く受けている。その際に家族の状況に応じて送迎なども行っている。又家族からの要望に対して話し合いを行い問題解決や対応方法を見出している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	2	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	定期的な非難訓練、警察への施設入居者の理解を協力を得ている。又、年間行事には、ボランティアによる催しも行っている。	0	
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	各入居者の必要性に応じて他事業者との連携を結んでいる。	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	包括支援センターに連携をとり協力をお願いをしている。	1	やっと包括支援センターとの関わりをもてるようになりこれからも定期的な運営推進会議等に参加していただき、ケアマネジメント等についても協働お願いしたい
		45 外部 評価 21	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週に1回の往診が行われており、24時間入居者の状態変化に対しての対応を迅速に行われるようにしている。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	ホームドクターの紹介で認知症専門医への診断・治療をうけられる。	1	もっと、職員が気軽に相談が出来るように、医師との連携をとって行きたい。
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	職員に、正看護師を専従し常に看護師、ホームドクターと相談し健康管理に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	職員・看護師・主治医・と連携を取り合い、入居者の状態を定期的に聞いており退院の調整や施設内での対応方法の検討などを行っている。	0	
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合のことを、入居契約時に書面と共に口頭で説明しており、又ドクターより入居者の状態を説明してもらって、今後の方針を話しあっている。	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	医師・看護師から助言や指導を行ってもらい施設での対応の不可を考えている。それにより今後の対応策も考えている。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	事前に書面や口頭での情報交換を行っている。	0	
		その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	6	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)		自己評価3項目・外部評価2項目	1	
		52 外部 評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人生の先輩として接しているが時折家族同様、方言を交えた言葉けを行っているがプライバシーを損ねるような対応言葉かけには気をつけている。記録等には個人名がわからないように十分に注意している。	0	
		53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人のペースにあわせ、自己主張ができるように支援し助言しやすいよう働きかけている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一応の流れはあるが、一人一人のペースに合わせた生活スタイルを送れるようにその時々の入居者のきもちを尊重した支援を心がけている。	1	一応の流れを作らないと、何もしたくない何もしないできないと身体機能の低下につながる為、家族との話し合い、希望も配慮の上支援している。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55~60・外部 25~26)	自己評価6項目・外部評価2項目	1	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	化粧道具など自分にあったものを使用していたものを使っていただき、訪問美容を利用したり、本氏が希望すれば望む店に行けるように努めている。	1	現在、家族が希望する店に家族が連れていかれたり、本氏行きつけに、家族が連れていかれることもある。
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の内容から季節感や郷土色を感じて食事に集中できる環境を作り、嗜好を配慮している。又入居者と一緒に施設で栽培し収穫した野菜等を使い下準備していただいている。お盆拭きやお茶碗拭きも入居者自ら職員に声を掛けてくださり、入居者同士で分け合い片付け分担されている	0	
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒・タバコ等を好まれる方が居られない為、提供はしていない。がおやつに関しては職員・入居者と一緒に昔ながらの手作りを楽しみながら提供している。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	個々の排泄パターンやシグナルを把握しその方に合った時間帯でトイレ誘導を行いプライドや羞恥心に配慮した支援を行っている。又おむつやパットはそれぞれの状況に合わせて使い分けている。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の入浴に対する理解力がない場合、こちらから声掛けしないと入浴の希望が無い為、曜日は決めている、基本的には本人の自由である。リスク等により時間が限られたりするが一人ひとりのタイミングに合わせている。	0	認識のある入居者に対してはいつでも希望に応じているが、認識のない入居者に対しては、都合ではなく曜日を決めることにより、認識をもっていただけの支援となっている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	本人にあった活動が自然な形で組み込まれその活動に見合った休息が取れるようその時々状況に合わせて安心して眠れるように支援している。	0	活動-休息のリズムは整っているか、活動の量は適当であり快適な活動で、活動の時間帯は適切か、常に話し合いを行っている。
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	2	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの趣味・趣向を把握し、個別または、集団で張り合いのある、(花札・トランプ・カルタ)など楽しんで頂いている。日常の中で過去の役割や楽しみ事が生活に生かされるように支援している。	0	一人ひとりが役割・(洗濯干し・洗濯たたみ・食器拭き・モップかけ)等日常生活の中で再現できている。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人管理が難しい方は、家族希望により、施設側で管理をしているが自己管理が出来る方は、本人・家族同意の上でおこずかい程度の金額を持っていただいている。本氏買物希望時には、職員付き添いにて買物へ行っている。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の希望により買物に出かけたり、散歩・ドライブ・外食への外出を行なっている。	1	日勤帯の職員に限られている為、突発的な外出希望に関しては、時間の調整を行い入居者に納得して頂いた上で外出支援を行っている。又入居者全員が外出、出来るようにその日の人事確保を調整
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節ごとの行楽に行く機会を作り、花見等に出かけている。又事前に家族への参加呼びかけを行っている。	1	各担当者とマンツーマンで外食や普段行けない所への外出支援も検討している。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をしたい時には、していただいている。年賀状・暑中お見舞い等入居者の手創りにて本氏が出したい所へだしている。又手紙が来た際に読み書きのお手伝いをし返事を出せる支援を行っている。	0	電話に執着心があり電話をかけ続けることによる、家族のストレス等も配慮し、家族の希望にそった支援も行っている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	面会に来られた際には、笑顔でお迎えし居室・談話スペースなどゆっくりとくつろげる空間をおつくりし、本氏との話題づくりの為にアルバム・コーヒー・お茶・菓子などお出ししている。定期的に行事への参加の声掛けや日頃の生活状況も報告している。	0		
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価8項目・外部評価2項目	2	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	歩行が困難で多動があり、危険を伴う行動がある場合でも、拘束は、せず職員は常に見守りを行い、行動にそった付添をしている。	1	夜間帯不眠の為、見守り付添が必要でありその際夜勤職員は一人に対応しなければいけなく歩行も困難で多動の為、他者の介助に当る際、車いすにて連れて回るといった行動と動きを止める為の声掛けを行っているが、身体拘束を理解した上で全体の事故防止・危険性の話し合いをしケアに取り組んでいる。	
		68 外部評価29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関は開放しいつでも自由に近隣の飼い犬の所へ行ったり、庭に出て花々を観察出きるようにしているが、廊下から玄関への引き戸にセカーをつけ職員は常に入居者の行動・居場所を把握し職員同士で声掛けしている。又、安全であることを確認し入居者に対しても声掛けを行っている。	0	行動範囲の抑制に繋がる為、玄関前のドアを開けたら音楽が流れるようにしている。	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	昼夜を通し入居者が自室に入られてる際にもプライバシーに配慮しながらさりげなく訪室し声掛けを行い、様子を確認し安全に配慮している。	0		
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物など危険性がある物は、事務所で管理しているが、入居者の判断能力・理解力・周辺症状により家族同意のもと、自己管理にまかせ定期的に管理状態を把握している。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	個々によるあらゆる面での危険・事故を予測し、一人一人に合った事故防止策・対応を常に話あっている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時に備え医師や看護師に指導してもらい年2回の避難訓練などで対応方法などを助言・指導してもらっている。	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難経路・避難場所・避難方法など指導、入居者を交え、消防員、立会いのもと避難訓練を7月下旬実施する予定。又近隣との連携にて協力を呼びかけている。	1	新しい職員に対しても即効に勉強会を勧めていきたい。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	医師・看護師・職員から入居者に対する危険性を説明しその時の対応方法をその都度、話しあっている。	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	0	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日のバイタル測定、食事量の変化・排泄の変化等、又顔色など体調の異変の発見に努め、早期発見し看護師・医師、各医療機関に連絡し対応している。	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の症状の変化の確認に努め変化があれば医師や看護師・調剤薬局との連携をとり指導があっている。又薬の目的を理解し把握している。	0	
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	個々の排泄リズムを把握し記録を確実に実行可能な限り服薬に頼らず、食物による(食物繊維・牛乳・ヨーグルト)自然排便を促している。又下剤服用は最低限に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の口腔ケアと往診歯科との連携にて個々の能力に合わせた口腔ケアを行っている。	0	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者の希望を聞き、料理の本などを参考に栄養バランスを考慮し作成し、食事摂取量のチェックと体重の急激な増減がないかの把握に努めています。又摂取と排泄のバランス・リズムが整っているか、十分な水分は取れているかの把握も努め、自由に水分を取れる環境にしています。自分で出来ない方には職員が声掛けにて支援しています。	0	個々の苦手な物やアレルギーなどにも考慮し別の食材で対応し又食事量の少ない時には補食で補わずなど心がけています。
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	病院への定期的な健康診断、手洗い嗽を徹底しており、予防接種を受けて頂いている。	0	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	器具等に合わせた消毒方法や管理方法（漂白・煮沸・拭き掃除）を行っており、食材も新鮮な物を購入し、常に日付チェックをし安全な食材管理に努めている。	0	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)		自己評価 8項目・外部評価 2項目	1	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)		自己評価 5項目・外部評価 2項目	1	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	気候がいい日には、玄関を網戸にしている。玄関周りには季節の花を置き誰もが鑑賞できるようにしている。	0	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関・廊下・トイレ・リビングには、季節の植え物や小物を置き一般的に家庭にあるような物を置いている。節句には玄関に兜・雛人形など飾り日本の伝統である生活感を工夫している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下奥の空間、ウッドデッキには、テーブル椅子を設置し思い思いに過ごせるよう工夫している。又、リビングにもテレビ前に3人掛けのソファを2つ置き入居者同士でテレビを観たり、談話されたりしている。	1	これからも、楽しみや張り合いになるような活動を触発する馴染みのものを用意したり快適な五感刺激を生活に取り入れる工夫を取り組んでいきたい。	
		85 外部評価33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に家族には、本人が今まで使い慣れた、馴染みの物品をお願いしている。中でも安全性・利便性を家族と本人とで相談し心地よく過ごして頂けるよう工夫している。	0	入居に関して、本人が理解・承知されていない場合、すぐに荷物を持ち込まず、慣れて頂くのを待ち、本人の理解の上、徐々に少しずつ荷物を揃えて頂くよう、家族にお願いするように取り組んでいる	
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎日の空気の入替えや、各居室には、換気扇を設置している。温度調節には、必要に応じエアコンにて、調整している。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	0	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全確保に努めた物の配置や、身体機能の低下にあった役割活動が出来るようにしている。	0		
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	1人ひとりの能力に応じ、出来る事・出来ない事・わかる事解らない事を理解され無理なく、その人が持っている残存機能の活用が行えるような支援をしている。	0		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	玄関前や外回りには、花々が咲いている。又庭には季節ごとの作物を植え、入居者皆で収穫を楽しんでいる。天気の良い日にはウッドデッキにて昼食・お茶会日を行っている。施肥をしていない為、自由に日向ぼっこをされたり、庭の散歩を楽しまれている。	0	自由に出来る反面、危険性もあるため職員は十分な配慮と注意を常に心掛け安全確保に努めている。			

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	3		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。